

教科	商業	科目	ソフトウェア活用	単位数	小学科・学年	教科書
				2単位	生活文化科・3年	ソフトウェア活用 (実教出版)
副教材	学習と検定 全商情報処理検定テキスト 3級ビジネス情報部門 (実教出版) 全商情報処理検定模擬試験問題集 ビジネス情報部門2級 (実教出版)					
学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどとおして、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を育成することを目指す。					

評価の規準・観点		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、小テスト</li> <li>実技試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、小テスト</li> <li>実技試験</li> <li>授業プリント 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業における態度、意欲</li> <li>課題等の提出状況</li> <li>定期考査、テストなどの振り返り 等</li> </ul>
評価の方法	授業における態度、意欲、出欠状況、課題の提出、確認テスト、実技テスト、定期考査等を上記の3観点に基づいて総合的に評価する。	

学習の内容 (特色を含む)			
月		月	
4	1章 企業活動とソフトウェア活用 1節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用 2節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化	10	3節 手続きの自動化 4節 データベースの構造 5節 SQLの操作
5	2章 情報通信ネットワークの活用 1節 情報通信ネットワークの導入と運用 2節 情報資産の保護	11	5章 業務処理用ソフトウェアの活用 1節 グループウェアの活用 2節 販売管理ソフトウェアの活用 3節 給与計算ソフトウェアの活用
6	第1期考査		第2期考査
7	3章 表計算ソフトウェアの活用 1節 表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 2節 表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ 3節 手続きの自動化	12	6章 情報システムの開発 1節 システム開発の基礎 2節 アルゴリズムの基礎 3節 情報システムの開発演習
9	4章 データベースソフトウェアの活用 1節 ビジネスとデータベース 2節 データベースの作成と操作	1 2 3	

担当者からのメッセージ及び特色
<p>1 授業 科目「情報処理」で学んだ表計算ソフトウェアの知識を基に、ビジネス情報の分析に必要な応用的な手法を学習します。また、指導目標の1つに全商情報処理検定（1月実施）受験があります。</p> <p>2 家庭では パソコンに触れることができる環境があれば、是非、簡単な小遣い帳などを表計算ソフトで作らせて下さい。</p> <p>3 補習 試験前に希望者がいれば実施します。</p> <p>4 その他 「全商情報処理検定試験ビジネス部門2級」を1月に受験します。</p> <p>5 特色 ビジネスに関する情報を適切に管理し、分析し、活用する知識と技術を習得します。さらに、コンピュータを活用することの重要性について理解するとともに、業務を積極的に合理化、自動化する能力と態度を習得します。</p>